

—平成30年度—
第二次募集

(知的財産権取得事業助成金)

《 記 入 例 》

(別紙2-3)事業計画説明書
(別紙3-4)助成事業の経費明細

(別紙2-3) 知的財産権取得事業助成金の場合

事業計画説明書

事業実施責任者(役職) _____ (氏名) _____

1. 事業計画の概略

(1) 助成金の種類

知的財産権取得事業助成金

(2) 事業テーマ名

「〇〇〇〇の〇〇方法」の国内特許出願 事業計画書のものと同じ

(3) 助成事業実施期間

助成事業開始日: 平成29年9月1日
助成事業完了日: 平成30年8月31日

(4) 助成事業の主たる実施場所(事業所の所在地)

今治市〇〇町〇丁目〇〇番〇号

(5) 助成対象事業について

出願の内容 (新規性・独創性を 含めて記述)	
------------------------------	--

出願内容(新規性・独創性を含めて)や、目的・効果を簡潔に、数行程度に
まとめてください。(新商品・新技術の全体像がわかるように)

(6) 資金調達

経費区分	金額	備考
助成金 ※ 1	200,000円	
自己負担額	380,000円	
合計	580,000円	

※1. 助成金交付希望額と一致

※事業計画説明書「1. 事業計画の概略(1)～(6)」で、最大A4用紙1枚以内

2. 事業の達成目標及び実施方法

(1) 現在までの事業の進捗状況

--

過去から事業計画書提出時点までの、本事業への取り組み、準備状況について記述してください。

(2) 周辺特許等

(既に取得済み、または同時取得及び今後取得予定の周辺特許等)

周辺特許	出願及び取得(予定)時期	周辺特許	出願及び取得(予定)時期
〇〇〇の製造特許			
〇〇〇の製造特許			

(3) 事業化達成目標

(事業実施期間終了後、事業化達成までの目標)

[具体的な事業化目標] ※市場性、将来性を含めて記述
: 目標とする達成時期 平成26年10月

・事業化達成目標について、本助成事業の位置付けや効果を含め、可能な限り数値等を用いて具体的に説明してください。
(商品等の性能・品質などの技術的達成数値や、売上金額、個数、販売・契約者数などの事業の進捗目標)

(4) 事業化達成による地域への貢献

--

・事業化達成により、地域社会の発展に寄与する事業であることを説明してください。

(別紙3-4) 知的財産権取得事業助成金の場合

助成事業の経費明細

費目	内訳 (実施内容・目的、積算明細)	金額(千円)		
		総経費	助成対象経費	助成希望額
知財取得に係る 経費	弁理士手数料 〇〇〇円	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇
	源泉所得税(法人の場合) 特許出願審査請求料 〇〇〇円	-×××	-×××	
	(注)減免措置を受け る場合には、それを 除した額を記載のこ と。	〇〇〇	〇〇〇	
	知財取得に係る職員旅費 〇〇〇円	〇〇〇	0(対象外)	
その他経費				
合 計		〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	
助成金交付希望額 (千円未満切捨て)		助成対象経費合計の1/2 以内 但し、上限200千円		上限200千円

・ 総経費欄には税込み額、助成対象金額欄には総経費の内対象経費を税抜きの額で記載。
(総経費は、助成対象経費以外の経費も含め、想定される全ての費用を含むものと考えます。)

